

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月10日 (第1回)
目標年度	令和17年度
市町村名 (市町村コード)	佐賀県武雄市 41206
地域名 (地域内農業集落名)	山内町 (赤田・筒江、小路・古場、網の内・上原、今山東・今山西、大砂古、宮の元・松原・重川内、臼の川内、大野中・下、下黒髪二、下黒髪一、大野上、宿、水尾・蜂の巣、徳蔵・淵の上・久保田、大切・峠・狩立・板ノ川内、辺田・寺の下、白岳・山下、館・原・砂古・平野、柳原、下山・小川内、山西、船ノ原下、網土原、原中、鳥海北中、鳥海北下、グミノ木、鳥海北上、駅通り、岩の口、茅場下、鳥海南下、鳥海南上、永尾上・下、山浦、鶴の原、鳥海南中、踊瀬一・二、柿古場、中通辰石、津々良、中郷、稗田、森蓮和、岡方、谷川内、上戸、山口・馬場野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	657 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	647 ha
② 田の面積	489 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	158 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	137 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・武雄市山内町は黒髪山、青螺山、黒岳山系が連なり、南に神六山、岡方山系に取り囲まれ、総面積の54%が森林を占める農山村である。
 ・米、麦、大豆の経営農地が多く、各所ではお茶、チンゲンサイ、いちご、みかん、畜産なども営まれている。
 ・地域農業の課題としては離農者の増加、後継者不足。また圃場整備竣工から約40年経過しているため農業用設備の老朽化が進んでいる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・土地利用型農業(米・麦・大豆)…集落営農、生産組合単位で構成員が経営に取り組んでいく。
 ・施設園芸(チンゲンサイなど)…認定農業者、認定新規就農者が規模拡大など検討しながら経営継続を行っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

・現在耕作中の農地については、生産組合単位で可能な限り耕作を続けていく。
 ・やむを得ない理由で離農者が出る場合は、集落内または近隣の担い手などに相談を行う。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	63 %	将来の目標とする集積率	63 %
--------	------	-------------	------

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標

・町内での品目についての団地化は、各地に点在する機械利用組合単位で取り組まれている。未実施の地域でも集積・集約による省力化のために取り組み単位を含めて検討を行っていきたい。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

・生産組合、機械利用組合単位で農作業の効率化のための団地化、団地面積の広域化を検討していく。

(2)農地中間管理機構の活用方法

・地域計画策定後は中間管理機構を通じて農地の貸し借りを行っていく。

(3)基盤整備事業への取組

・圃場整備が行われて約40年の時間が経過し、水路・パイプラインなども老朽化が進んできている。点検を行い、必要であれば国、県の事業による更新など検討していく。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

・新しい認定農業者、認定新規就農者の育成について自治体、JAなどの協力を受けて取り組んでいく。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①…イノシシ被害が各地で発生しているため、国事業や市の事業を活用してWM柵・電柵の設置により被害を防ぐ。昨今ではカモによる麦作被害が増えている。それらの対策も講じていく。
- ②…環境保全型農業直接支払の交付を受けて、有機農業の要件を満たせる限り継続していく。
- ⑦…多面的機能支払や中山間地域等直接支払を活用した共同設備の維持管理を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
	該当なし		

6 目標地図(別添のとおり)